

『一生懸命』 幻の新座市議会報告第81弾!



たかむらともや

2012年 5月 31日発行

③ 初の議会報告会

右の写真にあるように、今月 20日。石神集会所で、我々「市民と語る会」の初めての議会報告会がありました。報道陣と市民の方に囲まれての、緊張感のある議会報告会になりました。この報告会は3月議会の報告は勿論ですが、6月議会に向けて、市民の方達からの情報を頂く機会にもなりました。

「市民と語る会」ですから、市民と語りながら、一緒に市政や地域の問題点を考え、議会で訴え、解決していくことを常に考えています。この報告会は個人の報告会と合わせて、定期的に行っていく予定なので、気軽に参加してください。よろしくお願いします。

③ トング



今月も川掃除に燃えました。議会報告と何の関係があるのか! とよく言われますが、地域を良くしていこう! という思いが議員として一番大事なことだと思いますので、黒目川の掃除は僕の一つのベースになっています。このトングを使って、僕らは川掃除をしています。大人も子どもも、このトングでゴミを拾いながら、黒目川が少しずつ綺麗になることを、楽しんでいるのです。毎月やるようになって、もう直ぐ4年の月日が過ぎようとしています。ゴミは相変わらず捨てられています。それでも、4年前よりは少しずつ減ってきたと感じています。日本中で捨てる人が減り、拾う人が増えていけば、日本も日本人の心も少しずつ綺麗になっていくはずですよ。



初めての「市民と語る会」の議会報告会の様子です。左から立川、高邑、木村、塩田議員で、みんなの党の大山、城口両議員も参加してくれました。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。教育を語らせたら、止まらない男。都立石神井高校を経て北海道大学へ。新座五中・六中・二中で21年間を過ごす。2012年、2218票で当選。新しい会派「市民と語る会」を結成。文教環境常任委員長。「たかやん塾」塾長。「黒目川川づくり懇談会」代表として月に一度の川掃除に燃えている。子ども達の内部被爆を防ぐ為に「給食ゼロベクレル宣言」を訴えている。五・六中の男女硬式テニス部を率いて、関東大会5回、全国大会2回優勝。学級通信「一生懸命」を毎日発行。NHKの「おはよう広場」やインターネットテレビに出演。議員日記は8年3ヶ月、毎日更新し、市民目線の議会報告を毎月発行している。HPは19万アクセスを超える。新座初のツイッター議員であり、ミクシー、facebookでも発信している。日々教育を考え「観光新座」ではなく「教育新座」「環境新座」を。脱原発「反TPP」ふざけるな消費税増税!」を訴えている。

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 川掃除と原発

川掃除には小学生達も参加してくれています。大人が捨てたタバコの吸殻を、ビニール袋に入った犬の糞を、子ども達が拾って歩くのです。大人の身勝手な不始末を子ども達が始末していく・・・原発の問題と同じだと思いながら、僕はこれを書いています。核の廃棄物の処理の技術もないまま、原子力発電所を造ってきた大人たち。その身勝手な不始末のツケが今きているのです。犬の糞を始末できないのなら、犬を飼う資格はありません。煙草の吸殻の始末ができないのなら、煙草を吸う資格はありません。廃棄物の始末ができないのなら、震災や津波による被害を防ぐ技術がないのなら、原発を稼動する資格はない。そう、子ども達が教えてくれているのです。



③ 市長選

いよいよ7月には市長選があります。僕はお金をかけない選挙が好きです。まあ、我が家にお金がないからかも知れませんが・・・基本的な考え方として、選挙にお金は使いたくないのです。今回の選挙も僕の持ち出しは10万以内。カンパもあつたので、選挙貧乏にはならず済みました。お金をかけないでも戦える。お金をかけないでも戦って勝つ！7月にもそんな選挙をやる人を応援したいものです。初の女性市長」「青年市長」「6期目市長」そして「ベンジ市長」と色々色々噂されていますが、僕らはどんな候補者であっても「市民派市長」を応援していくつもりです。上から何でも決めていく市政、上から何でも決めていく教育には異議あり！です。市政も教育も自分達の手に取り戻すチャンス。それが今度の市長選だと僕は思っています。

③ 土曜授業

元々土曜授業の復活を議会で提案したのは自分です。私立や公立の一部で土曜授業が当たり前になってきている現実があるからです。(その時は「条例上できない」という答弁でした。)しかし、この4月から実際にスタートしてみると、学校現場には酷いことが起きていました。先生達の4分の1を占める、市採用の先生達が土曜日には出勤できないことが分かったのです。おまけに、事務の方達も出勤できないことが分かりました。スポーツ・文化クラブの練習は勿論、大会にも参加できない子ども達がいることも分かってきました。(反対に授業に出席しない子もいます)しかも、この土曜授業・学校の先生方には寝耳に水状態でスタートしたことも分かっています。そこで6月議会の一般質問では次のような通告をしました。

4. 教育問題

土曜授業が行われて2ヶ月が経過しました。当初から無理があるのでは、と指摘されていましたが、事務職や市採用の教職員は土曜日には出勤できない、などの制約があることが分かっています。市採用の教職員は、「新卒の教育の目玉」のはずです。学力向上を目指すといながら、肝心の教職員が出勤できない状態では、通常の授業は行えません。その分、県採用の教職員の多忙化に拍車がかかっています。やはり、無理のある土曜授業は見直し、通常の授業の単位時間を短縮していく方がいいのではないのでしょうか。

③ 40分授業

前から主張しているように、小中学校とも40分授業にする作戦が学力UPに繋がることは明らかなです。50分×4時間=200分を40分×5時間=200分にしていこう！という考え方です。土曜授業で無理をしなくても、短時間の授業になれば、子ども達の集中力は増しますし、何より先小中学校とも、給食の時間が12時スタートになります。食べ盛りの子供達や朝早くから出勤している先生達にとって、今の時間割でいくと、給食を食べるのが1時ということもある訳です。それでは4時間目はお腹が空きすぎるし、5時間目は反動で眠くなります。6月議会では、再度この考え方をぶつけます。